



Title	“スーパーコンピュータSX-4特集号” 発行にあたって
Author(s)	宮原, 秀夫
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1997, 103, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66189
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

巻頭言

”スーパーコンピュータ SX-4 特集号” 発行にあたって

センター長 宮原 秀夫

本センターの利用者の皆様、明けましておめでとうございます。

本センターでは平成6年度よりスーパーコンピュータの更新に向け準備を進めて参りましたが、ようやく新年より新しいスーパーコンピュータSX-4/64M2が稼動を開始しました。利用者の皆様方におかれましても、首を長くして待ち望んでおられたのではないかとお察しいたしております。

新しく導入されたスーパーコンピュータは、全体で64個のCPUを持ち、総合ベクトル演算能力128GFLOPS、主記憶容量16GB、拡張記憶容量32GB、ディスク容量1.3TBと従来のSX-3/14Rの20倍の処理能力を持つシステムです。

また、ソフトウェアについてもSX-3/14RとOSレベルや機械語レベルでの互換性を有するため、従来のソフトウェア資産をそのまま生かすことができ、さらに様々な分野の応用ソフトウェアを導入しており、SX-3/14Rの利用者はもちろん、これまでスーパーコンピュータを利用されなかった方々にも興味深いシステムではないかと思っております。

今回の特集は、このスーパーコンピュータの特色をまず皆様方にご紹介するために企画されました。紙面の都合で今回の特集だけでは一部しかご紹介できませんが、今回ご紹介できなかった部分につきましては今後のセンターニュースや速報などで順次ご紹介していく予定ですのでご承知おきください。

センターにとって、この数年間は昨年度の学内ネットワークODINSの2期整備や本年度のスーパーコンピュータの更新、さらには来年度の汎用コンピュータの更新など大変重要な時期を迎えております。これを機会に皆様方にとって先進的で便利なセンターとなるよう努力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。